

私は、11月23日に「TOYOTA GAZOO Racing FESTIVAL」を見に、富士スピードウェイに行きました。  
そこで、キッズ記者体験をしました。嵯峨宏紀選手と伊藤大輔選手にインタビューしました。

嵯峨選手は、ピットというところで、車のことを教えてくださいました。  
車はプリウスでした。でも、道を走っているプリウスとは形が違いました。  
中も運転席はあったけど、後ろの席は銀色の幕で隠してあって、見えなくなっていました。  
そこには、エンジンが乗っていると教えてもらいました。  
横の席もありませんでした。銀色の箱が置いてありました。  
それは、バッテリーというものだと言っていました。  
ガス欠すると急に動かなくなってしまうと言いました。  
そうならないように、ピットの人と話をしながらレースをしていると教えてもらいました。



次は、お部屋で伊藤選手にインタビューしました。  
私は、「どのくらい速いですか？」と聞きました。伊藤選手は「300キロくらい」と教えてくださいました。  
去年の車と今年の車は、違うと言っていました。  
3.4リッターだったけど、2リッターになりました。  
ターボというものがついていてから速いそうです。  
あと、去年の車は1100キロだったけど、  
今年は1080キロだから速いそうです。  
このお仕事はやってておもしろいと言っていました。  
うれしいことや悲しいことがあるのは、みんなが  
スポーツや勉強でうれしいことや悲しいことがあるのといっしょだと言っていました。



お仕事体験は楽しかったです。  
むずかしかったけど、いろいろ教えて  
もらいました。  
レースのことも、もっと知りたいと思いました。

